

## 「インフルエンザなどの感染症対応プロジェクト説明会」に参加ー東京都・東商・医師会共催ー

2018年10月25日

セリングビジョン株式会社

当社は、10月25日開催された「感染症対応力向上プロジェクト事業説明会（東京都、東京商工会議所、東京都医師会 共催）」に昨年に引き続き出席いたしました。

基調講演の「職場で気を付けたい感染症」（国立国際医療研究センター 国際感染症対策室医長 忽那賢志氏）では、インフルエンザをはじめ、麻疹（はしか）・風疹などの国内感染症対策と、海外渡航者の感染症注意事項等について話がありました。今、一番予防対策が望まれているのが、麻疹（はしか）と風疹です。大人の病気とも言われ、30～50代の男性を中心に要注意とのことです。

麻疹は日本土着のウイルスは存在しないため、海外での感染か海外からの観光客増加による感染が考えられています。麻疹の発症者の約9割はワクチン接種歴がなく、2回の接種を受けることでほとんど発症する恐れはなくなります。

また、風疹の感染報告数も首都圏を中心に急増中です。風疹の免疫があるかを調べる抗体検査をして、免疫がないとわかれば予防接種をすることが望まれます。免疫のない女性が妊娠初期に風疹に罹患すると、ウイルスが胎児に感染し、出生時に先天性風疹症候群と称される、白内障・先天性心疾患・難聴などの障害を引き起こすことがあります。まずはパートナーの風疹の免疫を確認することが大切です。確認の手段として、ご自身の母子手帳の接種記録を確認することが最も重要とのことでした。

主催者からの感染症対応力向上プロジェクト説明では、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が職場で発生した場合、会社の企業活動に支障が生じ、大な損失を招きかねないことを認識することが重要であるとのことでした。新型インフルエンザ（H7N9 強毒性）の発生も危惧されており、こうした状況に対応するため、各企業における職場の感染症に関する知識を深め、予防対策を実施してもらう必要があり、平成27年度より「感染症対応力向上プロジェクト」がスタートしています。

このプロジェクトでは、参加した企業を「協力企業」、目標達成した企業を「達成企業」として東京都が公表し取組みをPRする仕組みになっており、弊社も東京商工会議所の会員として28年度にエントリーし従業員知識習得とBCP（事業継続計画）作成を達成し、東京都福祉保健局HPに「目標達成企業37社」の一つとして現在も掲載されています。

（東京都福祉保健局HP <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/project/index.html>）

また、新型インフルエンザの発生が危惧されており、現在中国を中心に発生している鳥インフルエンザ（H7N9）が遺伝子変異によりヒト-ヒト感染となって、パンデミックが起こる可能性は否定できないといわれています。

弊社では、高機能・高性能マスクや、ノロウイルス対策向けの防護服等をはじめ感染症対策用品、防災対策用品を豊富に取りそろえておりますので、どうぞお問い合わせください。

<お問い合わせ>

セリングビジョン株式会社

担当: 田口

〒105-0003

東京都港区西新橋 1-9-1 ブロドリー西新橋ビル8F

TEL: 03-5251-3101

FAX: 03-5251-6020